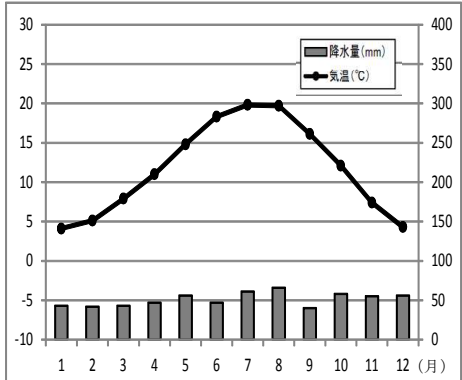


平成30年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第1学年 社会 解答一覧 No.1

大問	中間 小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況	
				成績処理システムでは1と入力すること	成績処理システムでは2と入力すること	
1	(1)	①	知識理解		・ A : 選挙 ・ B : 税金 (完答)	
	(2)	②	技能		記 号	イ
	(3)	③	思考判断表現	○住民の願いが実現される過程（流れ）について、「代表者」という言葉を使い、「市役所の働き」と「市議会の働き」のどちらかを正しく記述している。 ・市役所が、計画案や予算案を作成し、代表者に提出し、住民の願いが実現していく。 など	○住民の願いが実現される過程（流れ）について、「代表者」という言葉を使い、「市役所の働き」と「市議会の働き」を正しく記述している。 ・市役所が、計画案や予算案を作成し、その案について、代表者が市議会と話し合い、住民の願いが実現していく。 など	
	(4)	④	関心意欲態度	○高齢者にとって安心・安全で暮らしやすいまちづくりをするための提案のみを記述している。 ・バスやタクシーなどの交通の便をよくする。 ・福祉施設の数を増やす。 ・避難場所や避難ルートを確保する。 など	○高齢者にとって安心・安全で暮らしやすいまちづくりをするための提案とその理由を記述している。 ・私は、バスやタクシーなどの交通の便をよくしたいです。買い物や病院など、気軽に移動できるようにするためです。 ・私は、福祉施設の数を増やしたいです。お年寄り同士がより気軽に触れ合えるようにするためです。 など	
2	(1)	⑤	技能		記 号	イ
	(2)	⑥	思考判断表現	○オーストラリアの形が違う理由について、Cの地図の特徴のみを明らかにしながら説明している。 ・Cの地図は、赤道から離れるほど形がゆがむ特徴があるから。 など	○オーストラリアの形が違う理由について、Cの地図とDの地球儀の特徴を明らかにしながら説明している。 ・Dの地球儀は地球を小さくしたもので、大陸などの形を正しく表している。しかし、Cの地図は、赤道から離れるほど形がゆがむ特徴があるから。 など	
	(3)	⑦	技能		○5月～8月までの気温と降水量のグラフを完成することができている。 	
	(4)	⑧	思考判断表現	○Cが正解した上で、AとBのどちらかが正解している。	○3つとも正解している。 A : 風通し B : とけ C : 自然環境（気候も可）	
3	(1)	⑨	知識理解		記 号	エ
	(2)	⑩	技能		記 号	ウ
	(3)	⑪	知識理解		記 号	エ

【授業改善の視点】  
 位置や空間的な広がりや、地図や地球儀を活用して捉えさせ、身近な社会的事象や国や地域の特徴、結びつきについて、複数の資料を比較、関連付けて表現する力を高めたい。そのために適切な課題や問いを設定し、追究したり、解決したりする学習活動を取り入れる。

平成30年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第1学年 社会 解答一覧 No.2

大問	中問	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況
					成績処理システムでは1と入力すること	成績処理システムでは2と入力すること
3	(4)		⑫	思考判断表現	<p>○日本が、アジア州の国々と結びつきが強くなっていることについて、2つの資料から読み取ったことをもとに記述している。</p> <p>・日本の工場が、東南アジアで増えている。また、アジア州の国々からの輸入も、30年前と比べてとても多くなっている。これらのことから、日本とアジア州の国々との結びつきは、大変強くなっているといえる。</p> <p>・日本の工場が、東南アジアで増えている。また、観光客数の約80%以上は、アジア州の人々である。これらのことから、日本とアジア州の国々との結びつきは、大変強くなっているといえる。</p> <p>など</p>	<p>○日本が、アジア州の国々と結びつきが強くなっていることについて、すべての資料から読み取ったことをもとに記述している。</p> <p>・日本の工場が、東南アジアで増えている。また、アジア州の国々からの輸入も、30年前と比べてとても多くなっている。さらに、観光客数の約80%以上は、アジア州の人々である。これらのことから、日本とアジア州の国々との結びつきは、大変強くなっているといえる。</p> <p>など</p>
4	(1)		⑬	知識理解		<p>・A：大化の改新</p> <p>・B：高麗 (完答)</p>
	(2)		⑭	技能		<p>・アより前の出来事：①，③</p> <p>・アより後の出来事：②，④ (完答)</p>
	(3)		⑮	技能		<p>番 号</p> <p>②，③ (完答)</p>
	(4)		⑯	思考判断表現	<p>○資料2から読み取れることのみを記述している。</p> <p>・墾田永年私財法が出され、新たに開墾した土地であれば、開墾した者が永久に所有することが認められるようになったから。</p> <p>など</p>	<p>○資料2をもとに、荘園がはじまった理由について正しく記述している。</p> <p>・墾田永年私財法が出され、新たに開墾した土地であれば、私有することが認められるようになった。そのため、中央の貴族・寺社や、地方の豪族や有力な農民が、周りの農民を使って開墾を行い、私有地を広げるようになったから。</p> <p>など</p>
	(5)		⑰	知識理解	○3つのうち、2つ正解している。	<p>○3つとも正解している。</p> <p>・①：渡来人（遣隋使、遣唐使でも可）</p> <p>・②：大陸（外国、西洋でも可）</p> <p>・③：日本風（国風でも可）</p>
			⑱	技能	<p>○遣唐使の廃止と、中国風の文化を日本風につくり変えたことのどちらか1つを正しく記述している。</p> <p>・遣唐使の廃止により、中国の文化の影響がうすくなったこと</p> <p>・中国の文化を、日本の風土や生活にあった文化につくり変えたこと</p> <p>など</p>	<p>○遣唐使の廃止と、中国風の文化を日本風につくり変えたことの両方を正しく記述している。</p> <p>・遣唐使の廃止によって、中国との正式な交流はなくなり、それまでの中国の文化を、日本の風土や生活に合った文化につくり変えたこと</p> <p>など</p>
	(6)		⑲	思考判断表現		<p>○すべてのキーワードを使いながら、時代の特徴を正しく説明している。</p> <p>・古代とは、文化や政治の仕組みが大陸から取り入れられ、天皇や貴族が中心となって政治が行われた時代である。</p> <p>など</p>
	(7)		⑳	関心意欲態度	<p>○イメージマップを作っているが、イメージマップに書いた言葉を使わずに学習課題を作っている。</p> <p>・卑弥呼はどこに住んでいたのか。</p> <p>・聖徳太子の政治を調べたい。</p> <p>・古墳はいつごろつくられたのか。</p> <p>など</p>	<p>○イメージマップを作るとともに、イメージマップに書いた言葉を使って学習課題を作っている。</p> <p>・邪馬台国の卑弥呼は何のために魏に使いを送ったのか。</p> <p>・聖徳太子・蘇我氏はどのような方法で天皇中心の政治をつくろうとしたのか。</p> <p>・大和政権の勢力が広がるにつれてどのような古墳が造られるようになったのか。</p> <p>など</p>
	【授業改善の視点】					
	年表から、社会的事象を出来事やその時期、推移などに着目して捉えさせ、前後関係を読み取らせるとともに、相互関係を整理してイメージマップなどの図でまとめさせる学習活動を取り入れる。					